

坂道に沿って続いて見られる淡黄褐色の地層の上に、レキ層が重なっている関係から、地層には広がりがあることを観察する。

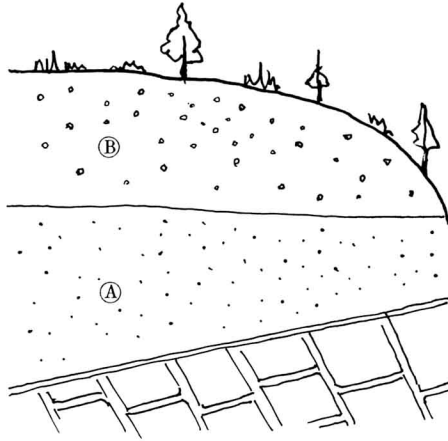
- (4) 地層に近づいて、地層の特徴を調べる。

Ⓐ層は、淡褐色で中粒の砂層です。注意して見ると、地層には、火山活動で噴き出した

白っぽい軽石と呼ばれるものを含んでいます。また地層の色が淡黄褐色なのは、この地層は水分を含みやすいからです。

Ⓑの層は、川原で見られるようなレキがつもっているレキ層です。大きいレキは、50cm大もあり、花崗岩や、緑色片岩のレキが大部分です。

このレキ層は第四紀の氷河紀の頃の段丘たい積物で、Ⓐの地層よりずっと時代は新しくなっています。Ⓐ層は新第三紀末の鮮新世の堆積層です。



2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所

学校の南側の高瀬川

- (2) 橋の上か、土手の上から、川原や水の流れを観察して全体をおおまかにスケッチする。

- ① スケッチの中に、川幅や川原のおおよその数値を書き入れておく。

- ② 川原につもっている土砂がけずられているのは、水の流れが曲がっている内側か外側かを注意して観察する。

